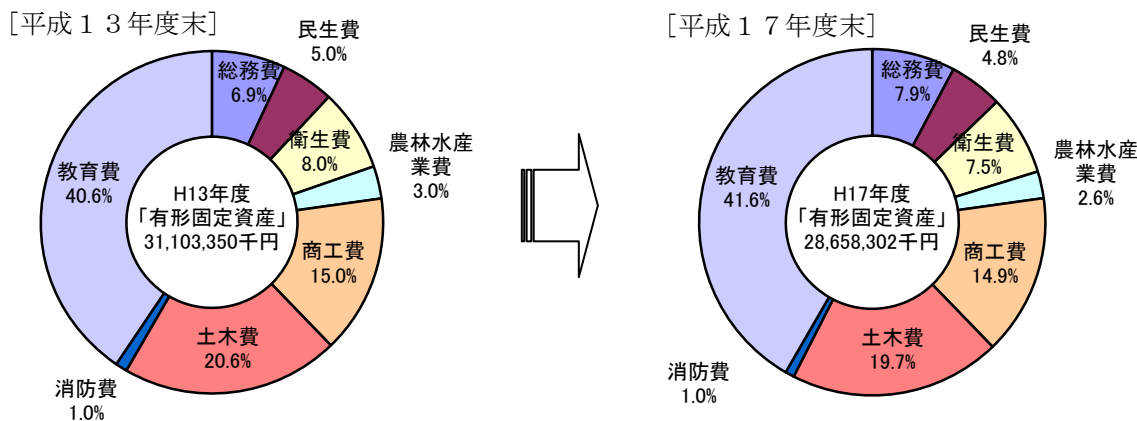
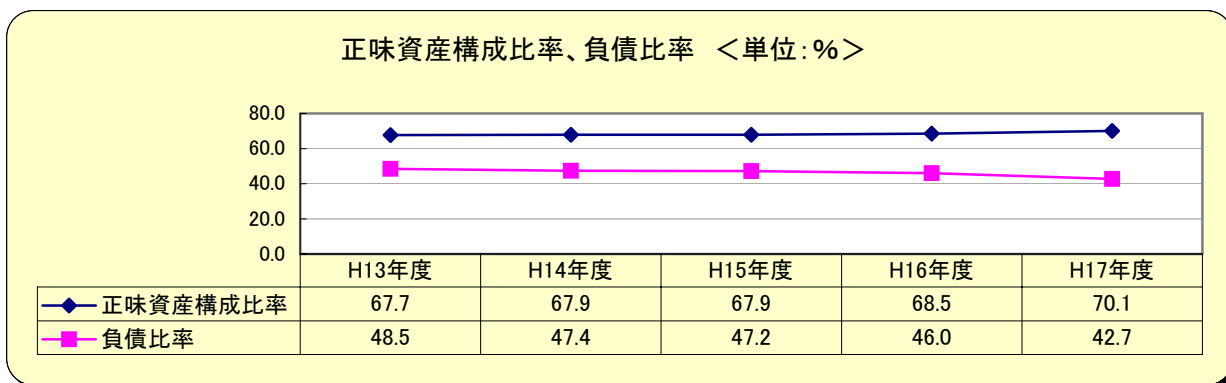


【有形固定資産の構成割合比較】



- ・教育費（学校・図書館・文化センター等）と土木費（道路・橋等）で、全体の6割強を占めています。
- ・教育費の増加は、図書館建設や、北小学校体育館の改修等が関係しています。（40.6%→41.6%）
- ・総務費の増加は、防災センター建設等が関係しています。（6.9%→7.9%）

【正味資産構成比率・負債比率推移】

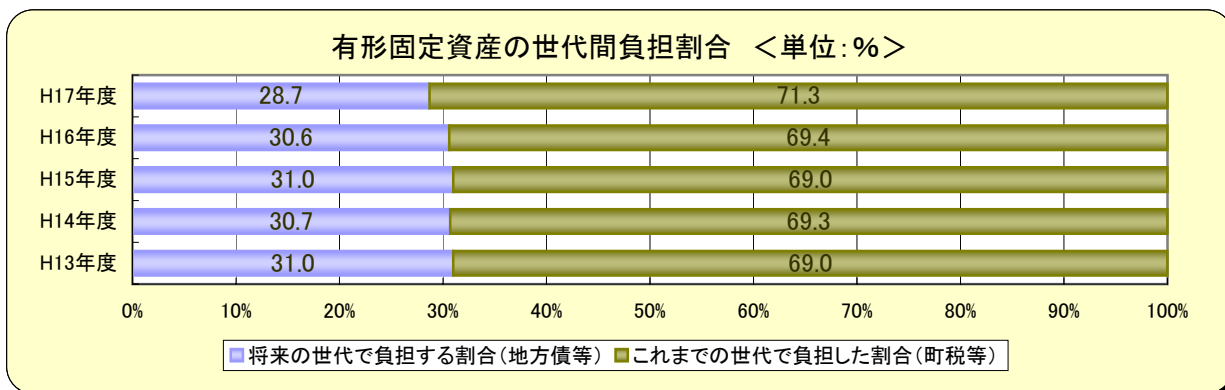


<正味資産構成比率> 割合が高い方が財政が安定しているといえます。

<負債比率> 割合が低い方が財政が安定しているといえます。

・ここ数年、地方債（借金）を起こして行う投資的事業を極力行わず、また借入金返済額がピーク時を迎え、起債の残高が減少していることもあり、財政状況が安定化傾向へ向かっていることがわかります。行財政経営プランにある、中長期的経営視点での事業執行が、今後も求められます。

【有形固定資産の世代間負担割合推移】



・下諏訪町の有形固定資産は、地方債（借金）により資金を調達した割合が28.7%となっており、これは将来の世代で負担するものとなります。学校や道路などの資産は長期にわたり使用されるため、世代間の適切な負担が求められるところです。